

# 心理学専攻

## 第13回コロキアムのお知らせ

下記のとおり、第13回コロキアムを開催いたします。どなたでもご参加いただけますが、博士課程の学生は必ず参加してください。博士課程の学生以外の方もぜひ積極的にご参加ください。

### 記

日 時：9月22日（木） 18時10分より

場 所：三田キャンパス南校舎6階 465番教室

発表者：松尾 加代

題 目：情報処理モードの相違が裁判員の判断に及ぼす影響

概 要：情報は部分的に独立している二つのモード（システムティック・ヒューリスティック）のいずれかで処理されると考えられてきた。システムティックモードでは、分析的・理論的・合理的で認知的努力を必要とする処理を行い、ヒューリスティックモードでは、表面的で簡便に全体的処理を行うとされる。ヒューリスティックモードは、個人が意識しない限り自動的に活性化されて情報処理を行い、また、感情との密接な関わりがあるとされる。裁判では感情を喚起する情報が提示される（被害者の生前の写真や、被害者遺族の悲嘆など）ため、法に素人の裁判員はヒューリスティックモードで情報処理を行い全体的判断を行う可能性が高いと考えられる。しかし、事前に情報処理モードをシステムティックモードに切り替えることによって、裁判員がネガティブ感情の影響を受けずに証拠を吟味し、合理的判断を行う可能性が考えられる。情報処理モードを切り替えるための方法として、当事りについての知識やマインドセットなどを操作することが挙げられる。本発表では、情報処理モードの相違が裁判員の認知的判断に及ぼす影響についての研究を報告する。

以上